

古高取通信

平成28年 7月

私たちは、活動の四本柱を基に、まちづくりに貢献することを目指します。

1. 活動の拠点を創る
2. 古高取の知識を深める
3. 古高取の魅力を伝える
4. 次世代へつなげる

古高取を伝える会会報

直方の高取焼



古高取

目次

平成二十八年度定期総会	2
古高取の魅力を伝える	2
窯元紹介	7
活動の記録	7
なんでも掲示板	8

「古高取の魅力」

小石原焼は、日本の陶芸界に大きく影響を与えたバーナード・リーチによって、「用の美の極致である」と大きく称賛され、民陶ブームを巻き起こしました。

一六八二年に、福岡藩三代藩主黒田光之が伊万里から陶工を招いて窯場を開いたのが始まりとされていて、主に生活雑器が焼かれています。高取焼の開祖、八山の孫、八郎も当地に移り住んで開窯していて、小石原焼に、高取焼が大きな影響を与えた事が推察されます。

これは、宅間、内ヶ磯、山田と、生活雑器を焼いてきた古高取の技法が引き継がれてきたことでしょう。

古高取の魅力は、「織部好み」や「遠州好み」に留まらず、「用の美」にもあるのではないのでしょうか。

隅田知明